

山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第75号（通巻第142号）

2008年12月24日発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

※ このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、改変しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。

■ 第3回期間採用者等研修会のご報告（山梨大学地域連携事業）

12月6日（土）、今年度3回目の期間採用者等研修会を開催しました。期間採用や非常勤の先生方、学生の皆さん等、合計67名の参加がありました。研修では、元石和中学校校長をお務めになられた永井先生による講演や、現在、指導的立場で活躍中の小・高校・特別支援学校・義務教育課の先生方からの実践報告と質疑、また、本学キャリアアドバイザーである永田先生による教育実践的な研修を実施いたしました。受講者から次のような感想が寄せられました。

「この研修で講師になれる先生方は、とても魅力的で自分も早くこうなりたいと思える方々です。」

「教師力は、子どもと真剣に向き合って、養われるものだとおもいました。」

「今日、参加してみて、本当に勉強になりました。はじめは「相談？」…かたそうだな～。と思いましたが、「次は、何？何がでてくる？」という気持ちになりました。他の先生方とも会話ができ、普段味わえないことを味わうことができました。ありがとうございました。」

「今、様々な点で迷っている時期だったので、良い経験になりました。」

「先生のお話は実践で、またこれからの教員としての夢、イメージ、目標を改めて描くことができ、とても勉強になりました。」

来年度もこの山梨大学地域連携事業プロジェクトが実施されることが、すでに決定されています。今年度の反省を生かし、よりよい事業成果が得られるよう取り組んで参りたいと思います。



■ 第3回連携・教育研究会のご報告

山梨県総合教育センターと当教育実践総合センターの連携・教育研究会ですが、9月30日の第2回研究会に続き、第3回は「言語力」「情報教育」「教育相談」「特別支援」の4つのグループごとに開催され、山梨県総合教育センターの主事研究への研究協力が行われました。主事研究に関しては、今後、2009年1月の山梨県総合教育センター所内発表会を経て、2月の同センター研究発表会及び同センター研究紀要により今年度の成果が発表されることになっています。

◇言語力グループ 言語力グループでは、11月28日(金)に教育センター会議室で研究会が開催されました。山梨大学からは国語教育講座の岩永教授が指導助言にあたりました。協議内容は、(1)4名の研修主事の方から個別の研究内容について(2)授業の中に「言語活動」を取り入れるための手立て・工夫について(3)「言語活動」の取り入れによる児童・生徒の変容をどう検証するかなどでした。平成21年2月24日の研究発表大会に向け、熱心に協議が行われました。

◇情報教育グループ 「情報教育」グループの第3回研究会は、12月9日(火)に山梨県総合教育センター第1実習室において開かれ、6名の研修主事から今年度取り組んでいる「主事研究」についての報告がありました。主事研究のテーマは、県内すべての学校を対象とするICT環境に関するアンケートによる実態把握、高等学校教育課程実施状況調査を生徒の個別指導に活かすための個票作成システムの開発、商業教育における簿記会計のデジタル教材開発、乙種第4類危険物取扱者資格試験対策のデジタル教材開発、及び、USBメモリ等の記録媒体の持ち運びによる情報漏洩やコンピュータウィルス感染のリスクを回避するための「キャビネット(ネットワークフォルダ)」機能利用の試行(笛吹市内小中学校)でしたが、これらの研究に対して教育実践総合センターの成田准教授が、情報提供、アドバイスを行いました。

◇教育相談グループ 「教育相談」グループの主事研究テーマは、「暴力やいじめの予防に関する研究 PART2」です。実践予定の暴力予防プログラムの内容や研究計画について、教育実践総合センターの谷口教授が情報提供、研究助言を行っています。10月から11月にかけて数回の電子メールでのアドバイス提供ののち、11月27日(木)には、御坂中学校において行われた県総合教育センター教員による暴力予防プログラムの実践授業を見学し、さらに研究課題や今後の方向性について活発な意見交換を行いました。

■ 第4回連携・教育研究会のご報告

12月16日(火)、県総合教育センターにおいて、第4回連携・教育研究会を開催しました。今回は、特に教育センター研修主事の先生方を対象に、これからの研究の方法論について「教育研究における質的研究法の可能性」と題し、附属教育実践総合センターの谷口明子教授が講演を行いました。約50名の方が出席されました。講演の中で、これからの教育研究の一手法として、従来の仮説検証型量的研究から仮説生成型質的研究の手法が、昨今の教育実践の課題を解決していく手がかりの一つになるのではないかなどのご提案がなされました。講演を受け、量的・質的研究の関係性や教育現場で起こっている事柄の分析等について、活発な質疑がなされました。教育センターの先生方から大変参考になる講演でしたとお声を頂きました。



■ 第3回「教育相談室連絡協議会」のご報告（山梨大学地域社会連携融合プロジェクト）

第3回教育相談室連絡協議会を12月2日（火）16時半より教育相談室にて開催し、前期の相談状況、附属学校園への支援等について協議しました。附属学校園における相談ニーズの確認と今後の在り方についても意見交換が行われました。山梨県教育委員会及び山梨県教育四者と「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談事業」につきましては、県内の保護者の方から多数の相談が寄せられています。次回は3月4日を予定しています。教育相談室に関するご意見や利用についてはセンターまでご連絡なくお寄せください。

■ 第4回学内教育相談協議会のお知らせ

平成17年度より年1回開催しております「学内教育相談協議会」を平成21年2月27日（金）16時よりJ号館5階多目的教室にて行います。昨年度から開始された「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談事業」の現況報告や教育相談全般に関する意見交換などを予定しています。教育相談スタッフの先生方、教育相談事業に関心をお持ちの先生方のご参加をお待ちしております。

■ 第4回教育臨床研究会のお知らせ

平成21年1月に第4回教育臨床研究会が開催の予定です。詳しい日時や講演内容については、決まり次第学内掲示やセンターだよりにてお知らせいたします。参加費無料、申し込みは不要です。ご関心のある方は、掲示等で詳細をご確認の上、直接会場（J号館5階多目的教室）にお出かけください。

■ 「教師のための教育相談」の報告書に関するお願い

教育相談を実施した方は報告書の提出をお願いします。報告書の簡易版および従来の報告用紙は教育人間科学部総務グループ入り口を入れて左手のレターケース（総務グループ提出箱）の教育相談専用ボックス（青いラベルです）にあります。また、谷口までご請求くだされば、メールでファイルをお送りいたします。提出は随時受け付けておりますので、谷口のレターボックス（教育実践総合センター）にお入れくださるか、メールにてお送り下さい。

■ 「教師相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください。

教育相談に教育相談室（Y-304）をどうぞご利用ください。鍵は教育実践総合センター事務室（J号館4F）にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。（なお、火・木・金曜日の午後は教育実践総合センター及び附属特別支援学校相談支援室が優先的に使います。）教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品を貸し出します。借りる際には使用ノートにご記入をお願いします。

これまでのセンターだよりの一部は <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/pub/nl/> で見るすることができます。